

平成20年度全国大豆現地検討会 開催要領

1. 趣 旨

大豆作においては、地域の気象条件や土壌条件に応じて安定した収量が得られる技術体系（大豆300A技術等の新技術）の確立及び普及に向けた取組が全国各地で行われている。

特に、北陸を始めとした日本海側の地域においては、低湿重粘土壌の水田転換畑が多いため、湿害による出芽不良、初期生育の遅れ等による大豆の生育阻害が問題となっている。

これらの課題を解消するため、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター北陸研究センターがアップカットロータリを用いた耕うん同時畝立て播種技術を開発し、その効果が実証され、普及推進が進められているところである。また、このほかにも、北陸地域においては、気象条件や土壌条件に応じた播種技術が開発されているところである。

今回、北陸地域において、全国大豆現地検討会を実施し、耕うん同時畝立て播種技術をはじめとした低湿重粘土壌に適した大豆生産にかかる新技術を幅広く生産者等に紹介し、同技術の普及推進に資することとする。

2. 主 催

社団法人全国農業改良普及支援協会、北陸産大豆振興協議会

3. 後 援

(独) 農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター北陸研究センター

4. 開催日時

平成20年8月5日(火) 13:00～17:30

5. 内 容

(1) 大豆播種機の実演・展示(新潟県上越市頸城区ほ場)

- ① 耕うん同時畝立て播種機
- ② 畦立同時播種機
- ③ ツーウェイ・ロータリによる耕うん・施肥・播種同時作業機

(2) 現地検討

島田生産組合又は(有)西条ファーム(上越市頸城区ほ場)

(3) 室内検討(ユートピアくびき希望館 多目的ホール)

(〒942-0127 新潟県上越市頸城区百間町716番地 TEL025-530-2360)

- ① 耕うん同時畝立て播種技術の説明
(発表者：中央農業総合研究センター北陸研究センター北陸水田輪作チーム 細川 寿氏)
- ② 北陸地域の気象・土壌特性を踏まえた大豆生育の改善に向けて
(発表者：中央農業総合研究センター北陸研究センター田畑輪換研究チーム 大野智史氏)
- ③ 北陸における大豆しわ粒の発生の現状と対策について
(発表者：中央農業総合研究センター北陸研究センター北陸水田輪作チーム 田淵公清氏)

6. 日 程

12:30	J R直江津駅南口前集合
12:35	バス出発【J R直江津駅発便】
12:40	バス出発【ユートピアくびき希望館発便】
12:50	機械展示・実演ほ場着（上越市頸城区）
13:00	機械展示・実演
13:50	機械展示・実演ほ場発
14:15	農家現地調査ほ場到着
15:00	農家現地調査ほ場発
15:25	ユートピアくびき希望館着
15:30	主催者挨拶
15:40	耕うん同時畝立て播種技術の説明
16:00	北陸地域の気象・土壌特性を踏まえた大豆生育の改善に向けて
16:20	北陸における大豆しわ粒の発生の現状と対策について
16:40	総合討論・質疑応答
17:10	閉会挨拶
17:15	閉 会

*閉会后、バスでJ R直江津駅まで移動

7. 参集範囲

都道府県試験研究機関及び行政・普及関係機関関係者、農業機械メーカー、全農県本部及び経済連、J A、実需者、大豆農家、農林水産省等

8. その他

問い合わせ先 社団法人全国農業改良普及支援協会 事業部
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7F
電話 03(5561)9563 FAX 03(5561)9569
E-mail: system@ei-net.ne.jp

「平成20年度全国大豆現地検討会」出席申込書

都道府県名等：(_____)

氏名	所属	職名	バス利用

備考欄

- ① 本出席申込書は、平成20年7月25日（金）までに、下記あてFAX又は郵送にてお願いします。
- ② 交通事情などの理由によって、JR直江津駅からのバスを利用されずに、自家用車などの利用を希望する方は、備考欄に必ずお書き下さい。
- ③ お申込先 FAX：03-5561-9569
 （全国農業改良普及支援協会 事業部 山田・草間）
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13（三会堂ビル 7階）
 E-mail：system@ei-net.ne.jp

【送信者】所属・職名：

氏名：

電話番号：

FAX：

* 申込み後の連絡が必要な時もありますので、送信者の連絡先を必ず明記下さいますようお願い申し上げます。